

研究プロジェクト 3)

社会情報システムの構築 (知識の循環を基盤とする社会情報システム)

高度に複雑化する社会構造に対応できる社会情報システム

知識社会の基盤となる社会情報システムとはどのようなものであるかを明らかにするとともに、新しい学問領域に発展してゆく分野を重点的に研究する。このためには、システムモデリング、システム理論、アルゴリズム工学、最適化などの基礎理論、高度なメディア理解技術、次世代ネットワーク技術やマルチエージェント技術などの総合的展開が必要である。具体的なテーマとしては、交通・消費・金融ネットワークなどにおける最適化アルゴリズム、コンテンツの商取引・契約の協調的プロセスモデル、異文化コミュニケーション環境の国際共同開発、メディア理解・分散ネットワーク技術による次世代e-learning環境、医工連携による医療映像処理やVR診断・治療システム、バイオテレメトリーによる海洋生物資源情報、情報フルエンシーの初中等教育カリキュラムなどの研究がここに含まれる。

医療映像処理や
VR診断・治療システムの研究

メディア理解
・分散ネットワーク技術による
次世代e-learning環境

若手研究者
の育成

(教育実施計画)

【リーダーシップ養成プログラム】

大学院生・ポスドクがリーダーとなる研究プロジェクトへの研究費を支給。研究室主導ではない研究を奨励し、リーダーシップを育成する。主体性・オリジナリティ・プレゼン能力・遂行能力などを評価する提案公募型。

【海外交流促進プログラム】

連携実績のあるアメリカ、中国およびタイに国際連携教育拠点を設置し、若手研究者や大学院生を派遣し、国際的人材育成を実施。

【複数アドバイザー制度支援プログラム】

指導教官以外の学内外の教官・研究者がアドバイザーとして、大学院生を研究指導する。これに伴い発生する旅費・謝金などを支給(社会情報学専攻は、博士課程・修士課程学生は全学生に適用)。

(これまでの実績)

【博士課程学生の博士号取得後の進路】

・国内

県立長崎シーボルト大学助教授、京都大学助手、東京工科大学助手、東京大学大学院COE特任研究員、東京大学生産技術研究所助手、九州大学学振PD、(独)科学技術振興機構さきがけ研究員、(独)科学技術振興機構研究員、(独)情報通信研究機構専攻研究員、その他情報通信関連企業

・海外

三星総合技術院(韓国)、大連理工大学(中国)講師、University of California(アメリカ)ポスドク、Maryland大学MIND lab. (アメリカ)客員研究員

【若手研究者の世界的な場での活躍】

・競争率の高い国際会議での若手主体の論文発表

ACM SIGGRAPH2003 Web Graphicsセッション、MIRAGE2003国際会議招待講演、DASFAA2004、WISE2002国際会議、AAMAS2003国際会議など。

・表彰など

WISE2002ベストペーパー賞、国際会議 SCI2003セッションベストペーパー賞、情報処理学会マルチメディア・分散・協調とモバイルシンポジウム 野口賞(優秀デモンストレーション賞)、人工知能全国大会2002にて大会優秀論文賞、電子情報通信学会第15回データ工学ワークショップ(DEWS2004)最優秀プレゼンテーション賞、2003情報処理学会坂井記念特別賞など。